

## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立岡山東商業高等学校		
実践者等	森 隆憲	実践日	令和3年6月25日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	理科・生物基礎		
対象生徒(学年等)	2年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	代謝(光合成と呼吸)		
使用したアプリ等	ロイロノート・スクール、Genius Scan		
実践の概要(ねらい等)	アナログとデジタルのイイトコどり 細胞内で行われている呼吸や光合成は非常に複雑な過程である。アナログ的に模式図を作成し、タブレットを使ってデジタル化し共有することで、効率よく理解を深めさせる。		
<b>実践の内容</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 光合成と呼吸をひとまとめにした模式図を考えさせるワークシート内にまとめる。(個人での活動)</li> <li>2 3~4人のグループで話し合い、模式図を作成させる。A3コピー用紙にまとめる。全員で共有することを意識させ、丁寧に文字を書くことやペン入れをして濃い線になるよう指導する。(グループでの活動)</li> <li>3 iPadアプリ「Genius Scan」を使ってPDF化し、ロイロノートに転送する。(教師が実施)</li> <li>4 生徒はロイロノートにログインし、教師から送られた各グループのまとめた模式図を評価する。 12グループ前後の模式図を、全員に自分のペースで確認させ、一番いいと思う模式図を決定させる。</li> <li>5 ロイロノートのアンケート機能を使い一番良かった班に投票させる。</li> <li>6 一番評価が良かった班に、工夫した点や苦労した点など補足説明をさせる。</li> <li>7 ロイロノート上で感想を書かせ、提出させる。</li> </ol> <p>&lt;生徒の感想&gt; みんなで話し合いながら模式図化することで、自分が理解できていなかったところが見えるようになり、さらに、頭の中が整理されたという意見が目立った。また、他のグループと共有することで、自分たちが気づけなかった点が見え、他のグループの工夫を真似て改善したいという、前向きな学習意欲の向上も感じられた。</p>		 <p style="text-align: center;">とってもアナログな模式図</p>  <p style="text-align: center;">投票した結果が瞬時にリアルタイムで確認できる。</p>	
参考となるHP等			